

ヒヤリングアート NEWS LETTER



Vol.1
2018.WINTER

ヒヤリングアートが9周年を迎えました!



お疲れ様でした!
9周年に乾杯!

10月5日夕方。ヒヤリングアートの仲間たちが、電車で揺られて集まってきたのは、ここ、京都・もち懐石料理・きた村。京懐石を基本にお餅を使った創作料理。このお店は、ヒヤリングアートのテーマソングを作ってくださった北村謙さんのご実家でもあります。美味しいものに舌鼓を打ちながら、ヒヤリングアートのみんな、先輩も後輩も、桜色の顔で9周年を祝い、「来年の10周年も、みんなで美味しいものを食べに行こうね!」と誓いあいました!



ごあいさつ

思い起こせば9年前、ひとりで始めたヒヤリングアート株式会社。1号店の豊中補聴器センターを開設し、8か月後に契約社員で入った小河原 弓子さん(現 取締役)、その1年後に山本 由佳さん(寿退社)、そして開設から2年半後に小切間 邦泰さん(現 池田店 店長)・・・今ではこんな沢山の仲間が増えました。沢山のお客様に応援して頂き、またスタッフの頑張りに感謝です。10周年に向けて甘えることなく、心を引き締めて営業してまいります。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

ヒヤリングアート株式会社 代表取締役 園原 裕将

インタビュー(琴月千湖さん編)

難聴で悩んでいた母からのメッセージ

千湖さんのお母様が、生前、難聴でお悩みだったときのことを聞かせてもらえますか？

母は12歳の時から病弱で薬を頻繁に飲んでいたりもあり、早くから耳が遠くなってしまいました。晩年は補聴器を着用していましたが「ピーと雑音がして聴き取りにくいし、頭が痛くなる」と言ってすぐに外してしまい、家族は大きな声で話さないを通じなく、母は少しずつ家族の輪から離れて行くようになりました。私や家族が辛いというより、母自身が一番辛くて寂しかったと思います。

ヒヤリングアートのサービスや活動を知って何か気づいたことはありますか？

ヒヤリングアートの園原社長と出会い、補聴器を上手に使えるようになるには、プロの装着サポートが必要だと知り、母はきちんとケアされていなかったんだなと思いま

した。私も当時は仕事が忙しかったこともあり、母のことを解ってあげられてなかったなと思います。あの頃に園原社長に出会っていたら、私がもっときちんと母に向き合え、もっと会話ができて、楽しい時間が過ごせていたのに……と、何度も写真の前で「ママごめんね」と言い続けました。遺影の母はきっと、「今からあなたが少しでも私のように難聴で苦しんだ方のお役に立てば良いのよ」とメッセージをくれたように感じました。今回の園原社長との出会いはきっと天国の母からのメッセージです。



Profile

琴月千湖

元タカラジェンヌ、歌手、ボーカル講師、プロジェクトすみれドリーム代表。

兵庫県西宮育ち、現在豊中市に在住。

宝塚歌劇団雪組の娘役として15年間在籍(音楽学校2年間を含む)。現在は自身のプロデュースするプロジェクトすみれドリームのライブやコンサートでも歌手、MC、演出家として活躍中。いつもそばで支えてくれた母の幸子さんが、生前に難聴で悩まれていたことから、難聴の方を応援する活動にも参加している。

新入社員はこんな人(言語聴覚士:田中さくら)

2018年4月、ヒヤリングアートに女性社員、田中さくらが入社し、池田補聴器専門店配属となりました。社内でも皆から愛されている彼女の魅力は何と言っても笑顔が素敵なことです！どんな時もいつも明るく、その元気な表情は、お客様や店のスタッフの心をほっと和ませます。そんな田中さくらは新人でありながら言語聴覚士という国家資格を持つ聴こえのスペシャリストでもあります。

言語聴覚士とは？

言語聴覚士とは、「話す」「食べる」「聞く」「読み書き」の専門家で、病気や事故で話せなくなったり、読み書きが難しくなった方へのリハビリテーションなどのサポートを行う「聴覚のプロ」です。言語聴覚士ならではの視点で聴こえのアドバイスができるので、お気軽にお尋ねください。

※ヒヤリングアートでは2018年10月現在2名の言語聴覚士が在籍しております。

自己紹介



こんにちは！
池田補聴器専門店の田中さくらです。
愛知県名古屋市育ちで、関西の人に、街に、食に憧れ、とうとう2年前に夢の関西進出を果たしました！

休みの日は、ほとんどUSJか長居スタジアム(セレッソ大阪)にいます。他にも趣味がたくさんあるので時間が全然足りません！(笑) 関西は大好きなのですが、まだ定番スポットしか行けていないので、地元の方しか知らない穴場スポットがあればぜひ教えてください。

仕事としては、補聴器専門店での勤務は初めてですが、今までもずっと言語聴覚士として聴覚の分野で働いてきたので、聴こえに関することでしたら何でも聞いてください。他の店舗のお客様とはなかなかお会いする機会も少ないですが、何度もお会いしている方も、初めましての方も、どうぞよろしくお願いいたします。

ヒヤリングアートのこだわり

補聴器のツヤ出し加工

補聴器を長く快適に使うために大切なこと、その一つはクリーニングです。補聴器からきれいな音を耳に届けるためにヒヤリングアートではそのクリーニングにも、とことんこだわります。乾燥をはじめ、汚れの吸い取り、金属接点のみがき、そしてクリーニング最後の工程に補聴器本体をピカピカに仕上げるツヤ出し加工があります。



ヒヤリングアートでは、ベッ甲職人から直接伝授された、ベッ甲に傷をつけずにピカピカにする特殊な技術を補聴器磨きに応用しています。そして仕上げには

マイクロファイバー素材のクロスで丹念に磨き上げます。その仕上がりは新品以上の輝きです。せっかくなら見た目も輝いたほうが気分も良いですね!ご愛用の補聴器がピカピカになると「気持ちがいいね!」とお客様からも大好評! ツヤ出し加工をご希望の方はお気軽にスタッフまでお申し付けください。



ピカピカに
生まれ変わり!

オリジナル新商品ご紹介

おしゃれな 超ミニ補聴器ケース新登場!

従来の補聴器ケースは、耳穴補聴器がぴったり入るものがなく、大きくてカバンの中に入れても邪魔になります。そこで、今回発売のケースは、補聴器がぴったり入る超小型ケースになっています。

ハイデグランデ補聴器ケース(黒)
サイズ(外寸):49mm(横)x38mm(奥行)x24mm(高さ) 2,800円(税込)
※ヒヤリングアートでは、自社ブランドを設立し、便利な補聴器周辺グッズの開発にも取り組んでいます。

小さくて
持ち運びに便利!



Heide Grande ハイデグランデ

ブランド名に込められた想い!

ハイデとはドイツに広がる荒れ地の意味。グランデはイタリア語で大きいという意味。
造語で「広大な荒れ地」そこは、植物もなかなか育たない平原ではあったが、何千年の歴史のなかで、ゆっくりと、ゆっくりと植物が生えて育ってきた。今ではある季節になるとその植物が花を咲かせるという。それは壮大な景色ではるか地平線まで花畑がひろがっているという。転じて、何もないうところから創造し作り上げていくという想いを込めてこのブランドを作りました。



茨木補聴器センターオープン!

今年の7月にヒヤリングアート5号店 茨木補聴器センターがオープンしました。



店長からごあいさつ

こんにちは。この度、茨木補聴器センターの店長を務めることになりました、森 裕之です。オープンしてからこれまで、豊中店・高槻店で担当させていただいたお客様がたくさんご来店くださいました。「内緒で来たほうが、あなた嬉しいでしょ」とサプライズでお越しになるお客様も多く、お客様の温かいご声援に日々感謝の気持ちでいっぱいです。今後も皆様に愛される温かいお店になるよう精一杯努力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

お店の雰囲気

シャンデリアをはじめ、壁掛け時計、特徴的な絵画やホワイトレザーの椅子など、イタリアンレストランを思わせる店づくりになっております。防音対策もバッチリで、お客様にゆっくりとおくつろぎいただけます。



森店長のこだわり

補聴器の体験や購入に際し、充分にお話をお伺いし、お客様が納得できる説明を心がけております。聴こえに関するお悩み相談、日常の身近なことなど、お話を伺っていくうちに、お悩みの本質が理解でき、お客様に最適なアドバイスができると考えています。



補聴器のヒヤリングアート

ヒヤリングアート豊中補聴器センター(本店):06-6848-4133

ヒヤリングアート池田補聴器専門店:072-751-3341

ヒヤリングアート高槻補聴器センター:072-683-4133

ヒヤリングアート茨木補聴器センター:072-634-4133

ヒヤリングアート須磨補聴器センター:078-731-3341

営業時間 10:00~18:00
(ご予約の方優先)

休日 水・日・祝
(須磨店のみ 日・祝)

全店 認定補聴器技能者 常駐
※須磨補聴器センターはヒヤリングアートのグループ店です。

Hearing Art
ヒヤリングアート
GOOD HEARING FOR GOOD LIFE

ヒヤリングアート株式会社 大阪府豊中市岡町北1-1-15 1階
<https://www.hearingart.co.jp>